

川崎異業種研究会（略称：川異研）は、昭和62年7月に設立した当所会員企業から集まった異業種交流のグループです。

川崎異業種研究会のホームページ <http://www.kawaiken.jp/>

7月定例会

7月12日(木)、7月定例会(暑気払い)を開催した。会員18名、オブザーバー2名の参加者を得た。今回の会場は横浜市にある「初芳館」。小上がりの座敷には、巨木をそのまま使った柱と丸太テーブル、そして巨大な木彫りの達磨和尚が豪快に迎えてくれた。

菅原会長挨拶のあと、吉田副会長の乾杯発声により開宴した。途中で、小林副会長から10月国内視察会(福岡)の案内、9月定例会と勉強会の案内がなされた。今年度の国内視察会は、「ものづくりの町」北九州市での工場見学と、「インバウンド先進地」である博多の視察を予定している。来る東京オリンピック・パラリンピックに向けた学びも含んでいる。行程をわかりやすく説明し広く参加を呼び掛けた。9月例会については、「働き方」「心身の健康」をテーマに講演が行われる旨が説明された。特に勉強会は、今年度から名称を「分科会」から「勉強会」に改め、対象も従業員や会員以外にも広げ、より会員に役立つ講習会を目指し企画していると説明された。

今回は久しぶりに参加する会員、1社複数で参加する会員もあり、盛大な暑気払いとなった。中締めは野見山副会長の力強い一本締めで、猛暑を吹き飛ばす豪快な手締めの音が響いた後散会となった。



猛暑を吹き飛ばしましょう！



初芳館(はつよしずし)

巨大な木彫りの達磨和尚

7月勉強会

7月5日(木)、午後6時30分より中原市民館にて7月勉強会を開催した。会員8名、和光大学生7名の参加者を得た。

今回は、株式会社モザイクワーク取締役 COO 高橋実氏を講師に迎え「これからの中小・ベンチャー企業の組織づくり～これからの日本に起こること～」というテーマで講演頂いた。

これからの日本は少子高齢化により労働人口が減少し、未曾有の雇用問題に直面することが予想される。この現実を踏まえ、大手企業と中小企業の格差について求人倍率や離職率などのデータで考察、今後の中小企業雇用問題の課題を探った。様々な新規事業と企業人事を経験された講師ならではの、ユニークな視点からの組織改革の話には、参加者一同引き込まれた。中小企業の強みである「機動力」「柔軟性」を活かし、これからの組織づくりに取り組もうという話は非常に興味深かった。その後行われた懇親会では、講師も参加され、膝を交えながらより具体的な事例を伺え、好評を博した勉強会だった。



7月勉強会で熱心に耳を傾ける参加者

加入のお問い合わせは

事務局：麻生支所 TEL 044-952-1191